



2023年8月10日

世界食料デー大会実行委員会御中

## 2022年度「世界食料デー」のご報告

拝啓

世界に広がる飢餓・貧困問題の解決を願って、日本の国内で私たちに何が出来るかを考え、共に実践していくために、昨年も「世界食料デー大会」に取り組んで下さいましたことを心より感謝申し上げます。コロナ禍も3年引き続く中にありましたが、各大会において何度も何度も検討を重ねていただき、あらゆる工夫を行っていただきながらご実施いただきました。その結果、昨年の世界食料デー募金総額は目標の2000万円を超える額となりました。皆様のお取り組みに心より感謝いたします。誠にありがとうございました。

2022年度の世界食料デー募金は、世界9カ国での地域リーダー育成、農業支援、妊産婦の栄養改善や学校給食支援等の働きに用いさせていただきました。詳細につきましては、報告書を添付させて頂きましたのでご参照下さい。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

2022年度世界食料デー募金総額 20,108,877円	横浜大会募金額 793,145円
---------------------------------	---------------------

ここに、心からの感謝をもってご報告させていただきます。

敬具

ハンガーゼロ（一般財団法人 日本国際飢餓対策機構）

理事長 清家 弘久

世界食料デー事務局（東京事務所内） 近藤 高史

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1 TEL: 072-920-2225 FAX: 072-920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OGCビル 517号室 TEL: 03-3518-0781 FAX: 03-3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 名古屋YWCAビル 6F TEL: 052-265-7101 FAX: 052-265-7132





収入金額		支出金額		
2022年度 世界食料デー 募金総額 (*1)	¥20,108,877	募 金 送 付	コンゴ民主共和国 地域リーダー育成、農業支援など	¥6,200,000
			ケニア 農業支援、学校給食支援	¥1,600,000
			エチオピア エイズ孤児などへの生活支援	¥2,400,000
			フィリピン 地域リーダー育成、教育支援	¥5,000,000
			インドネシア 妊産婦の栄養改善、農業支援	¥1,600,000
			南スーダン 給食支援	¥800,000
			モザンビーク 農業支援	¥350,000
			ザンビア 農業支援	¥300,000
			シエラレオネ 農業支援	¥500,000
			事務経費（講演者旅費・教材作成費等）	¥438,191
			チラシなど印刷、ビデオ作成関係費用	¥920,686

(\*1) 世界食料デー各大会募金額とその他世界食料デー指定募金合計

2023年8月1日

上記のとおり報告いたします

一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

〒581-0032 大阪府八尾市弓削町 3-74-1

TEL:072-920-2225 FAX: 072-920-2155

世界食料デー事務局 近藤 高史



大 阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1  
東 京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 517 号室  
愛 知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 名古屋 YWCA ビル 6F

TEL : 072-920-2225 FAX : 072-920-2155  
TEL : 03-3518-0781 FAX : 03-3518-0782  
TEL : 052-265-7101 FAX : 052-265-7132



## 世界食料デー2022 募金使途報告

### 主な支援先

#### 【コンゴ民主共和国】 ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ

プウェトでは、リーダーの育成と地域社会の繋がりの強化ならびに農業活動への支援を通して、住民が飢餓から脱出し希望をもって生きられるようになってきています。キンシャサでは、給食の提供と自家農園へのサポートを通して孤児院の子どもたちが毎日食事ができるようになっています。カレミでは、和解プログラムと農業活動を通して、争っていた部族同士が信頼に基づいた平和な関係を、構築しています。



#### 【ケニア】 FH ケニア

ソロロ地区のゴロロ集落において、地域住民の代表への意識変革と管理能力の強化などの人財育成を行い、住民が気候変動に対応するための知識や技術を学ぶためのモデル農園を設立しました。

※2023年10月号ニュースレターに詳細を掲載予定です。



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517号室  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 名古屋 YWCA ビル 6F

TEL : 072-920-2225 FAX : 072-920-2155  
TEL : 03-3518-0781 FAX : 03-3518-0782  
TEL : 052-265-7101 FAX : 052-265-7132

# ハンガーゼロ Hunger Zero

## 【エチオピア】FH エチオピア

物価の高騰など 2020 年から続いたティグレ州での紛争の影響がある中、アムハラ州南ゴンダール地区の3つの集落で、引き続きエイズ孤児や危機的な状況に置かれている子ども達とその家庭に対して教育を続けるためのサポート、家計の安定、新型コロナへの対応などの生活支援を実施しています。



## 【フィリピン】ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン

アルサビ村では、住民が主体となり、そこにある資源を活用して地域開発を進めていくことができるように、リーダーの育成と地域社会の繋がりの強化をサポートしてきましたが、いよいよ支援の手を離れることができるようになりました。

ハグナヤアンでは、高等教育を受ける子どもたちを対象に奨学金支援を行っています。



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル 517号室  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 名古屋YWCAビル 6F

TEL : 072-920-2225 FAX : 072-920-2155  
TEL : 03-3518-0781 FAX : 03-3518-0782  
TEL : 052-265-7101 FAX : 052-265-7132

# ハンガーゼロ Hunger Zero

## 【インドネシア】FH インドネシア

3つの村の農家の代表 28人が気候変動に対応した農業（CSA）についての研修を受け、有機肥料の作り方や有機農業における病害虫の防御など更なる知識を得て、それをそれぞれの農家グループのメンバー約40人に伝えました。研修を受けたリーダーたちは、学んだことを実践し、農家グループのメンバーたちが育てた野菜は、家庭での消費と販売に十分な収穫を得ました。また、今後も地域の農家が統合農業を進め、地域の経済を発展させていくための拠点としてモデル農園を設立しました。



妊娠期・授乳期の女性たちを対象に、家族の食事と栄養についての研修を行いました。また、ヘルスワーカーやボランティアと協力して、妊娠期・授乳期の女性たちなど約114人のフォローアップをし、健康や栄養に関する相談にのっています。

### その他の支援先

国名	支援内容
南スーダン	レイク州ルンバックのマブイスクール全校生徒790人に、週3日お昼に学校給食を提供することができました。それにより特に女子生徒が増え、全体の欠席が減り、成績もよくなってきました。
モザンビーク	若者を中心としたグループへの農業支援を行っています。
ザンビア	家庭菜園の推進などの農業支援を行っています。 ※2023年9月号ニュースレターに詳細を掲載予定です。
シエラレオネ	リーダー育成と農業支援により、特に女性たちの生活が改善しています。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1  
 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCGビル 517号室  
 愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 名古屋YWCAビル 6F

TEL : 072-920-2225 FAX : 072-920-2155  
 TEL : 03-3518-0781 FAX : 03-3518-0782  
 TEL : 052-265-7101 FAX : 052-265-7132